

令和6年度 持続可能な財政運営専門部会 質疑応答要旨のポイント

分野	質問者	回答者
財政指標について	<p>【委員】</p> <p>財政調整基金残高について、財政計画と実績との値が徐々に縮まっている。基金残高の増加が鈍化しているが、どのように捉えているか。</p>	<p>【市】</p> <p>財政調整基金への積立てについては、毎年度の決算の状況を見ながら、決算剰余金の一部を積み立てている。</p> <p>今後も、決算剰余金や予算の執行状況を踏まえて、積立て出来る時には積立てていきたい。</p>
	<p>【委員】意見</p> <p>財政調整基金の枯渇が、本専門部会ができた背景の一つであったと認識しており、今後も最も大事な指標として注視していきたい。</p>	
	<p>【委員】</p> <p>財政調整基金の積立てが伸びていないことに危機感を持っている。大きな公共事業もある中で、気を付けないと財政調整基金が減っていくことになりかねないが、どのように考えているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>現在のところは財政調整基金を取り崩すことはしていない。また、7年度当初予算においても、財政調整基金を取り崩さない予算としている。</p> <p>今後も、基金繰入に頼らない健全な財政を維持していきたいと考えている。</p>
	<p>【委員】</p> <p>実質公債費比率については、金利上昇に伴う利子の増加が見込まれた値となっているのか。</p>	<p>【市】</p> <p>7年度予算は、金利の上昇を踏まえて、利率の想定を1.5%と見込んでいる。</p> <p>前年度の6年度予算では、1.1%と想定しており、金利上昇分を見込んだ予算としている。</p>
	<p>【委員】</p> <p>金利上昇に伴う影響を受けるのは、新規借入分だけか。既存の借入分についても影響を受けるのか。</p>	<p>【市】</p> <p>利率は借入時に決定するため、過去の分は借入時に決定している。</p> <p>借換えについては、借換え時に新たな利率に見直して借入れる。</p>
	<p>【部会長】</p> <p>プライマリーバランスについて、財政計画では最終年度には黒字にしていく見込みであるが、物価・資材高騰等の影響も踏まえた、今後の見通しはどうか。</p>	<p>【市】</p> <p>物価や資材高騰で、建築や建設コストが上昇しており、大型公共事業の実施に伴い市債の借入額が増えることが見込まれる。</p> <p>市債の償還額と借入額とのバランスを見ながら、交付税措置のある市債を優先的に活用し、少しでも将来負担の軽減につなげていきたい。</p>

分野	質問者	回答者
取組状況について	<p>【委員】 県内の市町で、技術系職員が全然採用できていない、採用しても民間に転職してしまうと聞か、福井市の状況はどうか。何か手を打っているのか。</p>	<p>【市】 技術系職員の確保について、本市では、公務員試験のために専門的な勉強をしなくても、SPI試験を導入し、受験のハードルを低くしている。 また、通年採用も実施しており、働く時期も4月1日に捉われず、6年度も10月1日から土木職2名を採用することができた。 離職する職員もいるが、地元の福井に帰ってきたい方もおり、経験者枠の採用を広げ、カバーしている状況である。</p> <p>モチベーションアップについて、若手職員は、やりがいや実感、その見える化を求めており、チャレンジみらい予算の取組がその1つである。 昨年は20%ルールという仕事の20%は他の業務に使える取組によりモチベーションアップにつなげている。 また、市長と若手職員と一緒に散歩やカフェで、市長や自分の思いを語り合う取組を昨年度は3回実施した。 今後も、他自治体のいいところも取り入れながら、職員のモチベーションアップに取り組んでいきたい。</p>
	<p>【部会長】意見 県も SPI に加えて、面接だけの採用など、ますます競争がでてくる。 職員のモチベーションについては、非常に重要なことなので、本部会や行政改革推進委員会でも、どういう形で市長と話す機会を作り活用していくかを議論し、モチベーションアップにつながっているかどうかの評価までしてほしい。</p>	
	<p>【委員】意見 今後は、公共施設の進捗状況については、施設数や面積数にあわせて、財政的にはいくらかの低減につながっているのか金額評価も示していただきたい。 それで、性質別の歳出予算で、維持補修費などの減に結びつくこと一番望ましい。</p>	

分野	質問者	回答者
予算について	<p>【委員】 新幹線開業の効果として、駅周辺のにぎわいととも、開発や消費活動が税収に反映される。特に、固定資産税について、駅周辺の資産価格の上昇等による増収はどのように見込んでいるのか。</p>	<p>【市】 再開発A街区のホテルやマンション等の完成による増収のほか、新幹線の線路や車両等の償却資産の増収を見込んでいる。</p>
	<p>【委員】 新幹線開業に伴って、並行在来線となった分については、税収の対象にならなくなるのか。</p>	<p>【市】 並行在来線については、新幹線開業に伴いJRから経営分離された第3セクター方式の鉄道事業者であるため課税はされるが、特例として、土地等に係る固定資産税や都市計画税が20年間、2分の1に軽減される。</p>
	<p>【委員】意見 財政指標の多くが、性質別の歳出にリンクしているため、次回から性質別の歳出予算も示して欲しい。</p>	
	<p>【委員】 他市での下水道の陥没に関連して、下水道の見直し等に係る経費についての財政的な見通しと、今後、補修していかなければならないものがあるのか。</p>	<p>【市】 本市の下水道施設は、国の要請による緊急点検の対象には該当しないが、市独自の点検を実施していると聞いている。 点検費用に関する国の支援について詳細は把握していないが、現時点では、今回の件での一般会計からの繰出しなどの特段の話は出ていない。</p>
	<p>【委員】 競輪特別会計、水道事業会計および下水道事業会計予算の増加要因は何か。</p>	<p>【市】 競輪特別会計については、売上が伸びている傾向にあり、7年度はGⅡの大きなレースやバンク改修を予定している。 水道事業会計については、原目配水池更新事業や管路耐震化事業の進捗による増である。 下水道事業会計については、足羽ポンプ場更新事業の進捗による増である。</p>
	<p>【委員】 産業団地整備特別会計は、県が進めている団地整備のことか。</p>	<p>【市】 そのとおりである。県営の産業団地のことである。</p>

	<p>【委員】 チャレンジみらい予算は、非常によい取組である。 職員数21名、事業数13事業とは、グループでチャレンジしているのか、審査で落ちているのか。 チャレンジみらい予算全体で上限の枠があるのか、審査があるのか、どういう基準で採択されているのか。 担当部署の事業について、提案するという枠組みなのか。</p>	<p>【市】 1つの事業に対して提案者が複数名の事業がある。また、複数の所属に跨ったチーム提案もあり、資料ではマークを付けて記載している。 審査については、提案者から書類を提出してもらい、いくつかの提案は最終的に市長の前で直接、提案者がプレゼンしている。 採択の基準については、若手職員の自由な発想で提案があった事業を取り入れていくことが、将来につながっていくと考えられる事業を採択している。 基本的には自分の所属する事業のチャレンジみらい予算になるが、チーム提案については、違う部局・所属の職員も一緒にチームで提案する仕組みになっており、自分の所属でないものに対しても提案することができる。</p>
	<p>【部会長】 若手職員のチャレンジは様々な分野に広がって欲しい。そこに競争があると、よりよいものを、よりアイデアを膨らませることにつながるが、審査に落ちる場合もあるのか。</p>	<p>【市】 採択されなかった案件もある。</p>
	<p>【部会長】意見 チャレンジみらい予算については、プロセスも含めて、見える化し広報して欲しい。</p>	
<p>その他 について</p>	<p>【委員】 アリーナについての見通しはどうか。</p>	<p>【市】 昨年11月に本市で開かれた特別委員会において、経済界から半年から1年度程度、計画を見直す時間が必要との発言があった。 今後、見直したアリーナの事業計画が経済界から示された後、検討が進んでいくものと認識している。</p>